

八戸市中央卸売市場 青果部 取扱高実績

資料 1

1. 取扱高 期間： 令和5年1月 から 9月まで (開市日数 187日)
 数量： 67,607 t (前年比 99.3%)
 金額： 15,673,863 千円 (前年比 99.9%)

2. 月別取扱高

上段: 数量(t)と前年比 下段: 金額(千円)と前年比

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年取扱高
野菜	4,321	5,002	6,853	5,250	5,512	7,885	9,101	6,946	8,219				59,089	59,622
	91.4%	96.2%	115.4%	84.6%	91.7%	102.1%	110.6%	98.3%	96.5%	0.0%	0.0%	0.0%	99.1%	
	1,105,920	1,332,673	1,599,480	1,353,170	1,197,997	1,324,821	1,534,317	1,399,057	1,875,762				12,723,197	12,802,794
	91.5%	96.8%	104.9%	100.0%	86.6%	96.6%	101.0%	98.1%	114.6%	0.0%	0.0%	0.0%	99.4%	
果実	981	1,094	1,149	822	735	664	754	1,177	929				8,305	8,202
	99.5%	101.3%	110.1%	93.8%	109.4%	105.9%	97.6%	104.8%	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	101.3%	
	285,804	312,432	342,219	272,747	274,216	291,508	323,030	414,026	315,308				2,831,290	2,762,677
	98.5%	96.7%	96.9%	90.9%	104.6%	104.1%	104.7%	114.6%	111.1%	0.0%	0.0%	0.0%	102.5%	
その他 (野菜・果実加工品、鳥卵、その他)	27	27	35	22	30	21	18	17	16				213	265
	82.1%	77.0%	74.9%	69.7%	77.3%	113.2%	91.2%	83.2%	76.1%	0.0%	0.0%	0.0%	80.4%	
	18,149	17,194	18,532	13,190	14,916	10,274	8,214	9,977	8,930				119,376	128,728
	103.8%	86.0%	87.4%	103.7%	98.7%	113.3%	84.2%	80.3%	81.6%	0.0%	0.0%	0.0%	92.7%	
合計	5,329	6,123	8,037	6,094	6,277	8,570	9,873	8,140	9,164				67,607	68,088
	92.7%	97.0%	114.3%	85.6%	93.4%	102.4%	109.4%	99.2%	95.8%	0.0%	0.0%	0.0%	99.3%	
	1,409,873	1,662,299	1,960,231	1,639,107	1,487,129	1,626,603	1,865,561	1,823,060	2,200,000				15,673,863	15,694,199
	92.9%	96.6%	103.2%	98.4%	89.6%	97.9%	101.5%	101.3%	113.9%	0.0%	0.0%	0.0%	99.9%	

3. 入荷及び価格の状況

〔野菜〕 1月は10年に1度の強烈な寒波が襲来し、その影響から入荷量は軒並み前年を下回り、平年を上回る単価で取引された。
 2月は気温の上昇とともに多くの品目において生育が回復した。
 3月は平均気温はかなり高く、下旬には低気圧や前線の影響で雨の降る日があった。キャベツ・ねぎ・茄子等は生育が順調となり、価格は平年を下回った。生椎茸・しめじ等菌茸類は気温の上昇に伴い、需要が低下、荷動きが鈍化した。
 4月は不安定な入荷が続いた。主力のごぼう・長芋は、昨年の大雨被害の影響で入荷減の単価高。関東産の大根・キャベツ・白菜等の大型野菜も天候不順の影響から、それぞれ入荷減となった。
 5月は高気圧に覆われ平均気温の高い月となった。果菜、葉物類等の各品目とも入荷が潤沢となり、相場は軟調となった。
 6月は平年より4日早く梅雨入り、降水量は多く、暖かい空気に覆われた。大根・人参は生育順調で、数量増となり単価は平年の1割安、またにんにく・長芋・果菜類は高値となった。
 7月は大根・人参は育成順調で数量増の単価は平年の1～2割安。果菜類の生育は順調で、潤沢な入荷となった。葉物類は高温の影響で良品が少なく、高値となった。
 8月は最も暑い夏となり、品質低下などの悪影響がみられた。大根はB品やカット向けの割合が多く、ほうれん草等の葉物類・ピーマン等の果菜類は入荷が激減し高値となった。長芋・にんにくは、盆明けから入荷が増えた。
 9月は高温・干ばつの影響から、多くの品目で品質低下や収量減となり高値となった。

〔果実〕 1月は県内産ではいちご、県外産ではいちご・みかん・柑橘類が主力の販売となった。2月は県内産ではりんご・いちご、県外産ではみかん・デコボンが主力の販売となった。
 3月の販売の中心は、2月と変わりはないものの、徐々に柑橘類は減少し、すいか・メロン等の果菜類の販売が始まった。
 4月は県外産の中晩柑・莓、県内産のりんごが終盤を迎える月となった。その一方で、ニュージーランド産のサンゴールドキウイ・南米バナナやパイン、オレンジ等が堅調な荷動きとなった。
 5月は夏果実に棚替えとなったことで、西瓜・関東産メロン・山梨県産もも・ぶどう等のハウス物が出揃う月となった。
 6月は県内産はさくらんぼが、県外では西瓜・タカメロンが主力の販売となった。中旬からは山梨県産桃・プライムの出荷が始まった。
 7月は全般において前進出荷の傾向となった。販売の主力は西瓜・桃類となり、下旬からは九州産の梨の入荷が始まった。
 8月は外気温が高い日が続き品質低下が多く見られた。県外品ではぶどう・幸水梨が、県内品では桃・西瓜・メロンが主力の販売となった。
 9月はりんご・メロン・梨等で高温障害による日焼け果が多く見られ、少ない入荷となった。

八戸市中央卸売市場 花き部 取扱高実績

1. 取扱高 期間： 令和5年1月から9月まで（開市日数 177日）
 数量： 9,022 千本（前年比 98.7%）
 金額： 877,951 千円（前年比 102.0%）

2. 月別取扱高

上段：数量(千本・千鉢・千個)と前年比 下段：金額(千円)と前年比

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年取扱高
切花	634	666	1,546	752	883	713	756	1,279	1,061				8,290	8,374
	106.7%	99.4%	104.7%	88.6%	105.0%	96.8%	103.0%	91.9%	98.2%	0.0%	0.0%	0.0%	99.0%	
	63,799	68,325	147,825	65,243	72,449	59,085	69,076	127,132	111,186				784,120	765,251
	113.0%	120.1%	110.8%	86.8%	93.1%	96.7%	106.0%	94.2%	106.7%	0.0%	0.0%	0.0%	102.5%	
鉢物	4	7	14	13	12	9	4	2	3				68	64
	108.2%	119.1%	124.4%	92.3%	103.8%	136.3%	83.1%	126.2%	73.8%	0.0%	0.0%	0.0%	106.7%	
	2,019	3,620	7,099	7,721	7,317	4,417	3,684	2,354	3,188				41,419	38,324
	108.0%	111.2%	118.2%	89.2%	127.8%	94.3%	119.2%	105.3%	113.6%	0.0%	0.0%	0.0%	108.1%	
その他 <small>(枝物、観葉植物、 苗物、植木、加工 品、その他)</small>	36	115	83	101	115	98	39	39	38				664	704
	109.2%	93.1%	123.5%	80.1%	82.4%	90.6%	89.1%	156.1%	103.7%	0.0%	0.0%	0.0%	94.4%	
	2,343	5,125	5,517	9,922	10,034	8,152	3,973	3,586	3,760				52,412	57,185
	100.2%	105.4%	120.4%	76.0%	85.7%	86.1%	91.1%	134.7%	90.5%	0.0%	0.0%	0.0%	91.7%	
合計	674	788	1,643	866	1,010	820	799	1,320	1,102				9,022	9,141
	106.8%	98.6%	105.6%	87.6%	101.8%	96.2%	102.2%	93.1%	98.3%	0.0%	0.0%	0.0%	98.7%	
	68,161	77,070	160,441	82,886	89,800	71,654	76,733	133,072	118,134				877,951	860,760
	112.4%	118.5%	111.4%	85.5%	94.3%	95.2%	105.6%	95.1%	106.3%	0.0%	0.0%	0.0%	102.0%	

3. 入荷及び価格の状況

〔切花〕

1月は例年並みの入荷となったが、寒さが強くて開花が進まず、取引価格は高値基調が続いた。
 2月は桃の節句や卒業式用の花が多く取引され、全体的に引き合いが強く高値で取引された。
 3月は切花、カーネーション、ステータス、スイートピー等を中心に学校行事や彼岸用として多様な花が取引され、動きの大きい月となった。
 4月は前半は例年並みの引き合いがあり安定していたが、中旬からは急激な気温上昇により動きが鈍くなった。
 5月は切花やカーネーションが例年に比べ、輸入品の入荷本数が少なく、国産品が主体となった。月後半は、父の日用の黄色い花が増え始めた。全体をみると、単価は中値で安定していた。
 6月はアルストロメリアやトルコキキョウの入荷が多くあり、注目が集まった。また、ガーベラが安定して入荷、色彩の種類がとても豊富で引き合いが強かった。バラは、ブライダル需要は少なかったが、多種多様な商品が入荷し注目を集めた。
 7月は気温が高く生育が厳しい条件だが、お盆時期出荷となるリンドウやアスター・ケイトウ等の生育は順調であった。
 8月は全国的に気温が高く、お盆向け出荷が計画と大きくずれ、出荷できない生産者が多かった、菊類やカーネーション、バラは、高温で品質が安定しない月となった。
 9月は彼岸需要に対し入荷本数が少なく、中値からやや高値の単価で推移した。また、高温が続いた影響で品質低下や短いサイズの出荷が目立った。

〔鉢物等〕

1月は入荷量が少なく高値基調だった。
 2月後半は、学校行事用としてアザレアやプリムラ類の引き合いが強く、3月は贈答用の蘭類や観葉植物の引き合いが強かった。
 4月は鉢物が関東・南東北から多く入荷、引き合いも良かった。植木は「八戸市緑化まつり」の開催に向けた取引もあり、動きは良かった。
 5月は母の日用として、小型の蘭物や紫陽花が多く入荷したが、やや落ち着いた相場であった。
 6月は苗物、胡蝶蘭、観葉植物が安定して入荷され、7月は蘭類が安定して入荷された。
 8月は高温のため青森県内や東北からの出荷はほぼなく、県外からの蘭類入荷が主となった。
 9月は胡蝶蘭の引き合いが良く、価格は安定しているが、花痛みがやや目立った。